

「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを耕の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」(マタイ5章14節~16節)

「祝祭を生きる人生」 米村 英二 師  
同窓生会感謝レポート！

[山をも動かす祈り] ゴードン・リンゼイ師

# CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン 聖書学院

2024年5月・6月号 NO.192



主にある喜びに満たされた人生を歩む

# 祝祭を生きる人生

「その所であなたがたは家族の者ととともに、あなたがたの神、主の前で祝宴を張り、あなたの神、主が祝福してくださったあなたがたのすべての手のわざを喜び楽しみなさい。」(申命記 12章7節)

熊本県大津町 大津キリスト教会牧師  
学院顧問 **米村 英二 師**

## ■ 神が願う祝宴を喜ぶ人生

聖書の申命記の12章には、イスラエルの民が荒野での生活を終えて、約束の地に入ろうとする時に、何をなすべきかという具体的な心構えについて語っています。その第一になすべきこととして命じられているのは、「祝宴を張り、喜び楽しみなさい。」と言うことでした。

「その所であなたがたは家族の者ととともに、あなたがたの神、主の前で祝宴を張り、あなたの神、主が祝福してくださったあなたがたのすべての手のわざを喜び楽しみなさい。」(申命記12章7節)

申命記の中にはこの個所以外にも「喜び楽しむように」と命じられている箇所が多数あります。(12章12節・18節・14章47節・16章11節・14節・15節他) これはどうしてでしょうか? 又、神様はこの個所から私たちに何を教えたいのでしょうか?

## ■ 喜び楽しめない自分

一般には、クリスチャン生活というと、真面目で堅苦しく、あまり遊びのない生活を神様が私たちに願っているように思ってしまうけれども、実際はそうではなく、神様は、私たちがいつも神の御前で祝宴を張り、喜び楽しむ人生を歩むことを願っておられると言うことです。でも私自身は、過去を振り返ると、この「喜び楽しむ」という事があまり上手ではありませんでした。いやむしろ苦手でした。以前、私の息子が六歳、娘が三歳くらいの時でした。教会の若いメンバーの方たちからお金の入った封筒をいただきました。これは指定献金でこの献金は家族旅行の為に全部使って欲しいということで、「お願いだから生活費にまわさないで、子どもたちといっしょに楽しいときを過ごして下さい。」という思いが込められたものでした。それで私たちは、その好意に甘えて宮崎の

(次ページに続く)



旅行を計画しました。その日が来て、ホテルに着いた時、案内された部屋は、3階の窓から広い海が一望できる素晴らしい素敵な部屋でした。家族みんなも大喜びでした。しかし私はすぐにみんなにこう言いました！「これはぜいたくだ。もっと安い部屋に移ろう！」この言葉に、妻も子どもたちも落胆しましたが、しづしづ私に従ってくれました。そしてホテルの人に案内されて、今度は1階の隅の部屋に移動しました。その部屋は3階の部屋とは全く違って、窓は小さく、壁ばかりの暗い部屋でした。妻も子どもたちもその部屋を見て、いっせいに「ここは嫌だ！」と叫びました。最初に良い部屋を見るとランクを落とすのは難しいのです。私は結局、仕方なく折れて、ふたたび3階の部屋へ戻りました。又、こんなこともありました。

以前、家族旅行で野生の動物が見られるサファリパークへ行った時。現地に到着し、子どもたちはとても喜びました。しかし、入場料を見ると、4人全員が入るととても高いので、私は皆にこう言いました。「僕は外で待っているよ。」そう言って私は外にいました。その旅行から帰宅して妻はすっかり疲れてこう言いました。「あなたといっしょでは、ちっとも楽しくないので、もう二度と家族旅行などはしたくない！」と。結局、我が家の家族旅行は、これが最初で最後となりました。このように私は、家族の中で一番、楽しむことが下手な人間でした。ですからそれ以降、家族で楽しい時間を過ごす時には、決まって「お父さんは、書齋でひとり本を読んで！」と言われてしまいます。それは私の思いの中に、クリスチャンとは、「あまり楽しんではいけないのだ。」と長い間、考えていたせいではないかと思えます。しかし私と同じように考える人も多くいるのではないかと思えます。この申命記の言葉を読むと、神は民に先ず喜び楽しむ事を命じておられるのです。

「その所であなたがたは家族の者とともに、あなたがたの神、主の前で祝宴を張り、あなたの神、主が祝福してくださったあなたがたのすべての手のわざを喜び楽しみなさい」(申命記12章7節)

## ■ 喜ぶことを願う神

神は、私たちが「祝宴を張り、喜び楽しむこと」を求めておられます。なぜなら、先ずイエス様自身が喜びの人でありました。イエス様は言われま

した。「わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるように。」(ヨハネ15章11節) ここで「わたしの喜び」と仰られているイエス様には、「この世が与えるもの」とは違う「ご自分の喜び」があったのではないのでしょうか。その喜びがイエス様の原動力だったと思われれます。そしてその同じ喜びで、「あなたがたも満たされなさい」と仰られているのです。パウロも喜びの人でした。ピリピ書にはこうあります。「あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい。」(ピリピ4章4節) 又、テサロニケの手紙にも「いつも喜んでいなさい。…これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです」。(第1テサロニケ5章16節～18節) とパウロも喜ぶことを私たちに求めています。

## ■ お祝いと心配

なぜこれほどまでに神は、私たちに、「祝宴を張り、喜び、楽しむこと」を求めておられるのでしょうか？それは既に神は、全てを成し遂げられて完成しているからです。一般に人は何かが成し遂げられた時にお祝いをします。

2016年の熊本地震で崩壊した南阿蘇鉄道が全線復旧し、大津駅まで電車が開通しました。そのお祝いを妻は見に行きました。すると駅でお祝いに旗が配られ、それを振って沢山の人が電車を歓迎しました。このように人がお祝いするのは何かが完成した時です。又、韓国では子供が満1歳の時の誕生日は、結婚式の時のように盛大に行ないます。それはお祝いなのです。それには理由があります。それは、昔は日本もそうですが、韓国も一歳になる前に亡くなる子どもが多かったのです。ですから無事に守られて一歳を迎えるのは、大きな業績でした。その子はいちばん死亡率の高いその時期を乗り越えたのです。そこで盛大にお祝いをするのです。ですからお祝いするのは既に何かを成し遂げた後です。まだ成し遂げられていないならお祝いはできません。日本でも高校や大学受験に合格するとお祝いをします。しかしお祝いをするのは、当然、合格してからのことです。合格通知が届くまではとても不安です、心配です。それはまだ合格していないからです。成し遂げられないからです。ですから、このように、「お祝いと心配」は、お互いに相入れない対立するもの

(次ページに続く)



です。クリスチャンの人生の生き方においても、この「お祝いと心配」の2つの種類があると思います。それは未だ成し遂げられたかどうかわからない、「心配する人生」と、「お祝いする人生」です。みなさんの人生はどちらの人生でしょうか？

## ■ 完了した！

イエス様は私たちには繰り返し、繰り返し、「心配してはならない。」「恐れてはならない。」「いやむしろ「むしろ喜びなさい」と言われています。なぜ、イエス様はそう言われるのでしょうか？それはイエス様が、私たちに関するすべてを成し遂げてくださったからです！イエス様は最後の祈りでこう仰られました。「あなたがわたしに行なわせるためにお与えになったわざを、わたしは成し遂げて、地上であなたの栄光を現わしました」（ヨハネ17章4節）また、イエス様は十字架の上で酸いぶどう酒を受けられ、「完了した」と言われました。そして、頭を垂れて、霊をお渡しになったのです。つまりイエス様がその人生を終えるとき、大きな声で叫ばれたのは、「完了した」という言葉でした。

## ■ 祝宴こそクリスチャン人生

ですからイエスが、既に私たちに関するすべてを成し遂げてくださったのです！だから！もう何も心配する必要はないのです！「喜べ！」「祝え！」、これがクリスチャン生活です！ですから「祝宴こそは、クリスチャン生活の中心です！」祝宴の時は、聖書に何回も出てきます。イエス様は復活後、弟子たちが漁をしているところにご自分を現わされました。その時、弟子たちは漁をしましたが一匹も獲れませんでした。すると岸边からイエス様が言われました。「網をおろしてごらん。」（ヨハネ21章6節）すると沢山の魚が獲れました。その時、弟子たちはその方がイエス様だと分かりました。イエス様は岸边で炭をおこし「祝宴」を開かれました。「さあ、来なさい。その魚も持ってきたなさい。そして食しなさい」と。（ヨハネ21章12節）その「祝宴」の主催者はイエス様でした。すべてを整えられたのはイエス様でした。ですから私たちがお祝い出来るのは、「主がすべてをしてくださったから」です！私たちが何かをなしたからではありません。クリスチャン生活とは、日々、「神が成してくださったことを祝う生活」と言ってもよいのです。反面、「祝えない人生」「心配する人生」は、主がしてくださ

たことを知らないで、まだ、自分で努力し、何かを成し遂げようとしている人たちです。ですからクリスチャンはもう、自分で何かを成し遂げようとは思わないようにしましょう。何故なら、既に成し遂げられているのですから。放蕩息子が帰ってきた時も「祝宴」が開かれました。その主催者は、放蕩息子の父親です。父親がその「祝宴」のすべてを整えたのです。父が放蕩息子を許し、癒やし、歓迎し、そして彼の存在を「祝って」あげるのです。息子は、ただその父の愛に感謝し「祝宴」にあずかるのです。

ですからクリスチャン生活とは、このように、本質的には、「祝宴の生活」です。それは何故でしょうか？それは「イエス様が全てを成し遂げてくださったから」です！イエス様が「完了した」と言われたのなら、「完了した」のです！では何が完了したのでしょうか？

## ■ 罪の問題からの完了

第一に、「私たちのかかえる罪の問題」が完了しました。クリスチャンになって、もっと立派な人間になれると私は思っていました。しかし、そうはなれませんでした。内村鑑三は『求安録』の冒頭にこう書き記しています。「人は罪を犯すべからざる者にして、罪を犯す者なり。彼は天使となりうるの資格を備えながら、しばしば禽獣（きんじゅう）にまで下落する者なり。」私も何とか罪を犯さないように努力しました。そして天使のようになれる資格のあることを喜び、その為の努力もしました。若い時には「ブレインードの日記」（18世紀のアメリカインディアンへの宣教師）などを読んで、「彼のように生きられたら、どんなにいいだろう。」と憧れましたが、結局は、挫折の連続でした。パウロの告白のように「善をしたいという願いはあるが、それをする力がない。何とみじめな人間だろう。」（ロマ7章18節～19節）と何度もそう叫びました。しかし、イエスはこう仰るのです！「あなたのその問題は、わたしが請け負いました。わたしが、十字架上で、全部をあなたに代わって成し遂げたのです。だから、あなたを責めるものはだれもいません。あなたを責める者は、わたしを責めるのです。」そしてそこでパウロはローマ書の8章でこう語ります。「神に選ばれた人々を訴えるのはだれですか。罪に定めようとするのはだれですか。神が義と認めてくださるのです。」（ローマ書8章33節）「ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、御子と一っしょにすべてのものを、私たちに恵んでくださら



ないことがあります。」(ローマ書 8 章 3 2 節) だから「祝いなさい!」「喜びなさい!」そして、「安んじていなさい!」と。そのことを心底、体験したルターは、こう言いました。「大胆に罪を犯そう!そして、大胆に悔い改めよう!そして、祈ろう!」

これほどまでに、イエスは、この問題を解決してくださった。十字架上で叫ばれたように、完了なされたのだ。イエスが終わりと、言われた以上、終わりである。だから、「祝いなさい」と言われているのです。

## ■ 死の問題からの完了

第二に、主が完了してくださったのは、「死の問題」です。「死」ほどに私たちを脅かしてきたものがあるのでしょうか?ところがイエス様は、私たちの最大の悩みである「死の問題」を解決してくださったのです!イエス様ご自身が「死」に、そして、「復活」することによって、死後の世界が決して恐ろしい所ではないことを示されたのです。ですからパウロはこう言います。「私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。実はそのほうが、はるかにまさっています」(ピリピ 1 章 2 1 節・2 2 節) またイエス様はこう仰いました。「あなたがたは心を騒がしてはなりません。わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです」(ヨハネ 1 4 章 1 節) これがイエス様によって備えられている将来です。何と!大きな希望でしょうか!ですから「祝う」べきなのです。

## ■ 人生そのものからの完了

最後に、私たちの人生そのものが、もう既にイエス様によって成し遂げられているのです!ですから成し遂げようと努力する必要はありません。又、自分の人生はこれからどうなるのか?と心配する必要はありません。私たちはただ、イエス様が、既に成し遂げてくださった自分の人生を生きればよいのです。パウロはこう言いました。「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられ

るのです」(ガラテヤ書 2 章 2 0 節) ここでパウロはこう言っています。パウロは、私(パウロ)の人生はすでに完成し終わっているのです。ですから、私は既に死に、イエス様が私(パウロ)に代わって生きてくださっているのです。だから、「祝いなさい!」「喜びなさい!」と言われているのです!

これまでの私たちの人生は、「なにものかに成らねばならない」という圧迫を、いつも背後から受け続ける人生だったかもしれません。子どもの頃は、「良い子」であること求められ、学校へ行くようになると、「良い成績」が求められ、社会に出て、会社に入ると、「他の人に負けない業績」が求められてきたかもしれません。それはいつも背後からなにものかに成らなければ、自分はだめだと思わされた人生であり、自分も、自分を何ものかにしようとしてきた人生だったかもしれません。しかし、クリスチャンは、自分の人生を自分で築きあげる必要はまったくないのです。なぜなら既にイエス様が、私の人生を成し遂げてくださっていたのだからです!それを信じられますか?

## ■ 祝祭を生きる人生とは

イエス様が十字架上で、「完了した」と言われたのは、私の人生の「すべて」を含んでいたのです。だから心配してはいけません!むしろ「お祝い」をしましょう!「喜び」ましょう!主がなしてくださったことを「讃え」ましょう!それがこれからの人生です!このように「祝宴のとき」とは、既に神が成し遂げて下さった事を、しみじみと「味わう」ことなのだと思います。

神も、創世記で天地万物が完成されたとき、「お祝い」をなさったのです。こう書かれています。「そのようにして神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ。それは非常によかった」(創世記 1 章 3 1 節) もう一度、思い起こしましょう!そう!既に私たちに関する全てはイエス様によって成し遂げられたのですから、もう何も心配する必要はありません。むしろ、それを「祝いましょう!」成し遂げられたことを、しみじみと「味わいましょう!」老後の心配も不要です。なぜなら我が人生は、既に成し遂げられているのですから。だから私は焦らず、慌てず、一步ずつ、神が既に成し遂げて下さった人生を歩んで行きましょう!それが「祝祭を生きる人生」なのだと思います。■



# 「山をも動かす祈り」

ゴードン・リンゼイ師



ゴードンリンゼイ師  
James Gordon Lindsay、  
(1906年 - 1973年)  
アメリカ・テキサス州、  
ダラスにあるCFNIの創立者。  
『いやしの声』誌を発行する。  
著書は250冊以上に及ぶ。  
リバイバル伝道者。



イエス・キリストはマタイによる福音書21章21節から22節でこう言われました。「まことに、あなたがたに告げます。もし、あなたがたが、信仰を持ち、疑うことがなければ、いちじくの木になされたようなことができるだけでなく、たとい、この山に向かつて、『動いて、海に入れ』と言っても、そのとおりになります。あなたがたが信じて祈り求めるものなら、何でも与えられます。」

イエスはここで、山をも動かせる祈りの力について語っておられます。「あなたが信じて祈り求めるものなら、何でも与えられます。」と約束してくださるのです。信じがたいことではあっても、真実です。今あなたは、重い荷を背負って、苦勞しているかも知れません。また、あなたか、あなたの家族の誰かが重い病気におそわれているかも知れません。あるいは、経済的な問題で悩んでいるかも知れません。あなたの問題が何であろうと、すべての問題を解決するための鍵を、神

があなたに与えようとしておられることを知ってください。様々な問題で苦しんでいるあなたも、神の解放の力を体験できるのです。

山をも動かす祈りの力——あなたはこの力を解き放つ秘訣を学ばなければなりません。当然なことですが、ただ自分の環境がよくなることを望むだけではどうにもなりません。しかし、もし「あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをしましょう。」と、イエスが言われたように祈るなら、その祈りは間違いなく、神の答えをもたらすのです。(ヨハネ14章)

人々の信仰が弱まり、無力になる一つの大きな原因は、神のみこころではないから自分の祈りは答えられないと考え込んでしまうことです。人々が時々みこころではないものを求めるのは確かですが、しかし、求めるものの中にみこころであると言えるものもあるのは事実です。病人がいやされることは神のみこころです。クリスチャンが健康であることは神のみこころです。クリスチャンが恐れや精神的な圧迫に打ち勝つことは神のみこころです。毎日の必要が満たされることは神のみこころです。たましいに幸いを得ているように、すべての点でも幸いを得、また健康であることは神のみこころです。(IIIヨハネ2節) 次の点をはっきりさせておきましょう。祈り求めているご自分の民が、失敗や敗北であきらめてしまうことを、神は望んではおられません。彼らが聖書に出てくる人物と同じように、祈りによって具体的な答えを得て行くことこそ願っておられることなのです。祈りは急場しのぎの手段ではありません。祈りは日々の生活に欠かせない

ものです。祈りの秘訣を覚えれば、私たちの人生は奇跡の連続となるでしょう。

聖書の人物が経験した、すばらしい祈りの答えについて考えてみましょう。年をとったアブラハムが、サラを通して子供が与えられるようにと神に願い求めた時、神は奇跡的にサラの胎をひらき、子供を産むことができました。アブラハムの孫にあたるヤコブは、復讐を企てた四百人もの武装した集団を引き連れてやって来る自分の兄弟エサウが目前に迫った時、一晩中祈り、神と格闘しました。祈りの戦いに勝ったヤコブのために、神はエサウに対する勝利を与えられたのです。(創世記32章、33章) それまで、ことごとく勝利をおさめていたアツシリヤの大軍が、エルサレムに攻めて来ました。アツシリヤ軍の数に圧倒されたヒゼキヤ王は、勝つ見込みが全くない中で、神に祈りました。すると、その夜、主の使いが出て行って、アツシリヤの陣営で、18万5千人を打ち殺したのです。(II列王記19章15節〜35節) このことがあって間もなく、ヒゼキヤは重い病気になって、死にかかっていました。人間的に考えれば、全く望みのない状態でした。しかし、ヒゼキヤは顔を壁に向けて主に懇願しました。その結果、彼の寿命は、もう15年、加えられたのです。(II列王記10章)

エリヤは、あるやもめの死んだ息子のために祈りました。いったん死んでしまった者がもう一度生き返るなど、全く前例のないことでした。しかし、それにもかかわらず、エリヤが主に祈ったことは答えられて、死んだ少年は生き返ったのです。(I列王記17章20節〜23節) ダニ

エルは、ネブカデネザルによって滅ぼされたエルサレムの復興のために祈りました。この忠実な預言者の祈りの影響によって、クロス王は、ユダヤ人がエルサレムに帰って、それを復興させることを命令したのです。(ダニエル9章)

ペテロは、投獄され、死の宣告を受けました。しかし、教会は彼の釈放を熱心に神に祈り求めました。すると、御使いが牢を訪れ、ペテロを無事に牢から連れ出したのです。このように何度も何度も神がいかなる環境の中にあっても、ご自分の民の必要を満たし、祈りに答えられたことを知ることができます。病氣からの解放にしる、奇跡的な備えにしる、危険からの守りにしる、神の導きにしる、餓死からの救いにしる、国を治めるために必要な知恵にしる、神は信仰の祈りに答えて、それを与えてくださったのです。祈りによって確かな答えが得られます。イエスは言われました。「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。」これはどういう意味でしょうか。祈りにはすべての問題を解決し、すべての必要を満たし、山をも動かす力があるということです。人間の想像をはるかに越えたことですが、神の約束は真実です。その秘訣さえ覚えれば、あなたも祈りによって神の答えを得ることができるのです。

●「山をも動かす祈り」の小冊子を無料で購入できます。お申し込みは事務局まで。(お一人、1冊)

2024年1月15日 (月)

# 祝、入学!

富山県  
岩村 一義



■CFNJ 聖書学院に導いて下さり、良いものを与えようと思ひ心を配り、支えて下さる主に心から感謝します。私たちは学院に向けて出発する3日前に能登半島地震がありました。私の地元も被害に遭い、行くのも困難な状況でしたが、主が守り、道を作って下さり、夫婦共々北海道の地に来ることができました。この学院生活を通して、「わたしについて来なさい」の片道切

符を握りしめて、自分が切り開く人生ではなく、神様に養われて導かれる人生の祝福を受け取って歩んでいきたいと思ひます。いつも祈り支えて下さる皆様に心から感謝します。

2024年3月8日 (月)

# 祝、卒業!

この日、学院の3年目(アルプスコース)の学びを終えて、3名の卒業生が神様が備えておられる地へ旅立って行きました。それぞれの歩みが「地の塩、世の光」として、神の栄光を現す事が出来るように、お祈りをお願い致します。



■三年間お祈り頂き、心から感謝いたします。寮生活を通し互いに愛することを実践していく中で、失敗と感ずることだらけでしたが、その都度、赦され、祈り、主のからだを組み合わされ、イエス様に信頼して歩むことを学びました。この場所でたくさん愛して頂き、癒やされていきました。今後は私も、人々の「神のアイデンティティの回復」に用いられていくように、主により頼み、感謝と喜びをもって仕えられるようにお祈りください。すべての栄光をイエス様に! (3年コース 仲井 恵)



■ハレルヤ! 3年間の CFNJ の学びを終えて3月に無事に卒業しました。学院での3年間は如何に主が完全な守りの中で導いて下さるかということを経験することが出来ました。2年で卒業するのかアルプス行くのか、卒業したらどこに行くのか全て自分の力ではどうすることも出来なかった時神様が導いて下さって3年目に行くことが出来、また卒業後もカナン・プレイズ・チャーチで奉仕の道が与えられて本当に感謝です。これからも従順に神の道を歩みます! 「あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。箴言3章6節」 (3年コース 秋山 耕平)



■今回 CFNJ アルプスコースを無事に卒業する事ができました。今まで経験した学校の中で、一番楽しく勉強できたと思ひます。53歳の私が若者たちと一緒に学べたのは、とても有意義でした。勉強の内容も実践的で大事なことばかりでした。また心配していた健康も守られて、主に感謝をささげます。そして、卒業式と同時に牧師挨拶も受けました。卒業後も続けて CFNJ 聖書学院の家族寮に住んで、ここで子ども伝道ミニストリーを始めたいと祈っています。新しい働きのために、ぜひお祈りください。

(アルプスコース 伊藤 ソジョン)



8 「関東地区」

# CFNJ同窓生会



## ハレルヤ！感謝レポート！



去る3月23日（土）東京の日野キリスト教会を会場に、「関東地区 CFNJ 同窓生会」が行われました。第1期生から38期生までの卒業生とご家族、未来の入学者を含め60名以上の方々が共に集まり、主を賛美し近況を分かち合い、互いに励まし祈り合う素晴らしい恵みのひと時でした。

学院の卒業生でもある日野キリスト教会の岩崎義幸 & 千識牧師夫妻やフルタイムスタッフの山田勝利 & れん夫妻を始め、教会のメンバーの方々が、食事作りや子供たちのお世話など献身的に仕えて下さり、集まった卒業生達は心置きなく久しぶりの再会を喜び、初めて出会う同窓生たちとも親しい交わりを楽しむことが出来ました。

卒業生のおひとりひとは、それぞれの遣わされた場所で、卒業後も様々な試練を乗り越えながら、主にあって堅く立ち続け、ある人は牧師として、又ある人は社会人として仕事に励み、家庭では子育てに励みながら、たくましく生きている姿に心打たれ、大きな感動を覚えました。今も試練のただなかにある方々のためには、これからも誠心誠意とりなし祈り続けます。

司会や賛美、ゲームなどを導いてくださった大木夫妻、受付を手伝ってくれた瞳姉妹や直子姉妹、ショートメッセージや証をしてくださった岩崎牧師・鈴木牧師・結城牧師、そして美しい声で特別賛美を捧げて下さった滝沢兄弟、本当にありがとうございました。そしてそれぞれたくさんの愛と贈り物を携えて、会いに来てくれた参加者の皆さん、本当にありがとうございました。皆さん方一人一人はまさに主と私達にとって宝であり誇りです。すべてを導き祝福してくださった主に、心からの感謝と賛美をお捧げします。

以下は参加してくださった方々の声です。

♥ 今日は本当に恵みの時でした！

♥ 学生時代にタイムスリップしたような夢のような時間でした。企画して下さい感謝します！

♥ 懐かしいメンバーと再会できてうれしかった～！

♥ 東京で同窓生会を開催してくれて嬉しかったです。初めての方や久々の方にも会えて楽しい交わりの時でした！

♥ ビジネスをしながら牧会されている方と交わり、これからの私達家族の必要が詰まった同窓会でした！

♥ 幸せな時間でした。たくさんの励ましをいただきました！

♥ 同窓会を開催してくださって本当に感謝です。み使いのようなお二人の姿に触れ、主と共に生きる恵みに畏敬の念を感じました。息子にもぜひ学院で学んでほしいので祈っています。聖霊の息吹が CFNJ により激しく吹き渡りますように。この学院は日本の希望です。主にありて、祝福をお祈り申し上げます！

この他にもたくさんの方が感謝を表してくださいました。すべての栄光が主にありますように。ハレルヤ！（レポート 鍛冶川紀子）







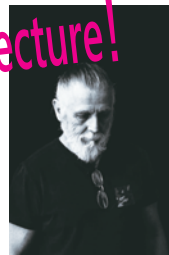


# CFNJ聖書学院 特別セミナー!

「レナード・ジョーンズ」 *spring special lecture!*

## 「ワーシップ・曲作りセミナー」

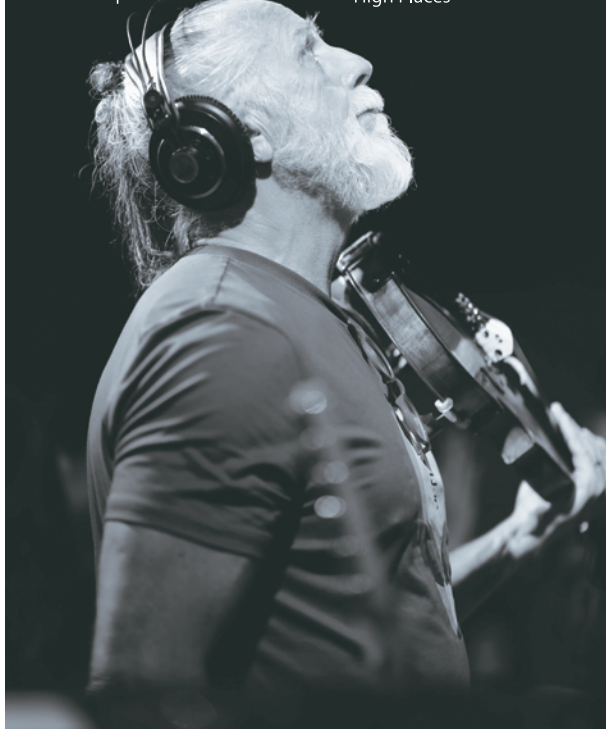
2024.4.22(月)～26(金) (1日、2時間の、合計10時間。)  
1時間目/午前8:45～9:40 (休憩20分) 2時間目/10:00～10:55



### <DISCOGRAPHY>

Deep Waters  
I Dreamed There Was A Fountain  
Spontaneous Combustion  
Sounds in the River  
Draw Me Up  
The Best of Worship & Warfare I  
Worship and Warfare III

Songs of My Youth  
Crowns  
Perspective  
Apple Tree Revival  
Instrumental Worship Pack  
Perfect Pitch Training Set  
Arifacts  
High Places



### 「レナードジョーンズ」セミナー講義スケジュール

- ・ 22日 (月) テーマ/「なぜ礼拝をするのか？」
- ・ 23日 (火) テーマ/「曲作りを学ぶ①」
- ・ 24日 (水) テーマ/「曲作りを学ぶ②」
- ・ 25日 (木) テーマ/「ダビデの幕屋」  
「ワーシップリードの実践」
- ・ 26日 (金) テーマ/「預言的な礼拝」

(講義内容は変更の可能性があります。)

### レナード・ジョーンズ (Leonard Jones)

師は、FJC ジャクソンビル大学、マサチューセッツ州ボストンのバークリー音楽大学にて作曲と理論を学ぶ。ロック、アイルランド民謡、ブルース、シンフォニーなど、様々なジャンルの音楽スキルを持つ。過去、世界中で賛美をリードし、作曲をし、CDをプロデュースし、又、次世代のワーシップリーダーを育ててきた。師はクラシック音楽とジャズの訓練を受けており、様々な楽器を弾きこなし、現在、ノース・チャールストンポップ交響楽団の団員であるヘザー・ライス氏のために編曲を提供。また聴覚・絶対音感の訓練コースを教えており、編曲、作曲、映画のスコアリングをオンラインで教える予定。師はマラー・ジョーンズと28年間結婚しており、17歳、19歳、22歳の三人の養子がいる。

### <受講・参加申込み方法>

- 対象者：神を愛し真の礼拝者を目指す全てのクリスチャン。
- 受講料：1日2時間で1,600円（1日だけの参加も可）全日受講し宿泊・食事申し込まれる方の費用の合計は、5,600×5=28,000円となります。近郊から参加される方も一日2時間1,600円の受講料をお支払い下さい。全日参加の場合、8,000円となります。
- 宿泊：遠方から参加される方で宿泊・食事を申し込まれる方は、1泊3食付き4,000円（タオル洗面道具は持参）場所は、二段ベット使用の学生寮となります。（退室の際は部屋を清掃しゴミを所定の場所に出すこと。）
- 申込み：4月15日（月）までに学院にメールにてお申込み下さい。(office@cfnj.com)

**あなたのご参加をお待ちしております!**

# CFNJ 講義・ ゲストスピーカー

# 2024 年度 1 学期 授業カリキュラム スケジュール

●ゲストスピーカーの講義は、どなたでも聴講できます。聴講は無料です。(席上献金あり。一部授業は有料) 又、各コースの授業も聴講可能です。(有料) 詳しくは学院事務局迄お問い合わせください。

## 2024年4月15日 (月) ~7月5日 (金)迄

**無料体験入学  
実施中!**  
平常授業のある3日間 (3泊4日)

## 2024 年 4月・5月・6月



**リード・ジョンズ師**  
世界各地で賛美をリードし、作曲、CDをプロデュース、又、次世代のワーシップリーダーを育ててきた。●テーマ / ワーシップ・曲作り。

**4/22~26 1・2時間目**

### 1・2年コース (必修科目) (敬称略)

	月	火	水	木	金
<b>1</b> AM 8:45-9:40	新約聖書概論1 金聖圭	クリスチャン カウンセリング 三浦 雅範	山上の説教 1 鍛冶川利文	詩篇の学び 田中博	幕屋の学び 松原望
<b>2</b> AM 10:00-10:55			の基礎 クリスチャンホーム 岡田好弘		
<b>3</b> AM 11:05-12:00			日本教会史 鍛冶川利文	山上の説教 1 鍛冶川利文	聖書的世界観 伊藤 仁



**宮谷 泉師**  
●テーマ / 「伝道の為の戦略的伝教入門」

**5/31 2・3時間目**

### アルプスコース (必修科目)

<b>1</b> AM 8:45-9:40	教会論 田中博	弟子訓練 金聖圭	執り成し 岡田 好弘	ヨブ記1 石田吉男	牧会カウ ンセリ ング 小栗昭夫
<b>2</b> AM 10:00-10:55		ヘブル書 長沢克己	聖書の フォロ ワー 坂本清憲		
<b>3</b> AM 11:05-12:00	弟子訓練 金聖圭			聖書釈義 1 松原望	



**ソ・ヒョンソプ師**  
GL ミッション (福音といのち宣教会) の代表。世界各地で「福音といのち」キャンプを開催し、いのちの福音を教えている。

●テーマ / 「災難と、キリスト教の本質」  
**6/24~28 1・2時間目**

### 選択科目

<b>午後</b> AM 13:00-15:00	ヘブル語クラス 金聖圭 (一年コース)	タンバリン クラス初級 伊藤 雄基	実習 (必修)	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川 紀子
-----------------------------	---------------------------	-------------------------	------------	------------------------



随時願書受付中!

cfnj.com

# 新入生募集中!

2024年9月入学、各学期からの入学可。

無料体験入学  
実施中!

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで

- アルプスコース  
(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース  
(1学期だけの短期で学ぶ事も可能です)

■SNSでCFNJの最新情報を

- Facebook : @CFNJBS
- Instagram : CFNJ 聖書学院

## 感謝のご報告と祈りの課題

1. 学院のボイラーが数年前から度々故障して、暖房がストップし、お湯も使えなくなるといった状態が、これまでに何度も繰り返されてきました。そのたびに業者の方に来てもらって応急処置をして何とかつないできましたが、皆様方のお祈りのおかげで、学院のボイラー新設取り換えのための費用の大半が、主によって満たされ、ついにその工事が今年の夏、2週間(7月15日~30日)にわたって行われる予定となりました。ハレルヤ!感謝します。その間、寮に住む人々の生活が守られるように、又、経費のすべてを期限までに支払うことが出来ますように、引き続きお祈りくだされば幸いです。
2. 学院開設40年目となる節目の2024年度新学期に、4名のフレッシュな新入生と2名のALPSコース進学生が備えられました。主が飢え渴いた心を持った学生を更に増し加えてくださいますように、共にお祈りください。
3. 今年の冬が来る前に新しいパワフルな除雪機が与えられるようにと祈ってきましたが、この件について特別に重荷をもって、捧げたいと言って祈り続けてくださっている方もおられることを主に感謝しています。こちらにも必要に迫られていますので、主が人々の心を奮い立たせて下さり、主の山の備えから必要な金額が満たされ購入できるように引き続きお祈りください。



CHRIST  
FOR THE NATIONS  
JAPAN

宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

# CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

- HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688
- e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

